

はじめに



高槻市は、関西のほぼ中央に位置する優れた立地条件と抜群の交通アクセスをはじめ、36万市民に支えられた豊富な労働人口と、北摂有数の商業集積、充実した医療機関等の質の高い生活インフラを備えています。あわせて、わがまちは北摂連山の山並みや、摂津耶馬溪とも称される摂津峡をはじめとした豊かな自然環境に恵まれ、都市と自然、賑わいと静けさなど「二面性」の魅力を兼ね備えた都市として知られています。

また、国道171号沿道を中心とした大規模製造業の集積と、充実した商業集積などは、産業都市高槻としての本市の魅力を形成しています。

このような中、本市では、商業・サービス業、観光、工業の分野における関係者が協力・連携して本市の産業振興に取り組むための指針として、平成15年に「産業振興ビジョン」を策定し、様々な産業振興に関する施策・事業を展開することで、魅力あるまちづくりに向けた取り組みを進めてまいりました。

その間、ビジョンの策定から9年が経過し、平成23年3月にはビジョンの上位計画となる「第5次高槻市総合計画（高槻市総合戦略プラン）」が新たに策定されたことをはじめ、都市基盤整備においても本市産業やまちづくりを取り巻く状況は大きく変化しています。

平成24年4月には、JR高槻駅北東地区都市開発事業のまちびらきが行われたほか、駅南側でもエレベーター、エスカレーターなどの整備も完了し、交流人口や定住人口の増加に向けた環境が整いました。

また、平成28年度には高槻神戸間の新名神高速道路や高槻ジャンクション・インターチェンジの開設に向けた整備が進められている中、高槻以東間の供用開始も平成35年度に予定されているなど、電車や車の交通アクセスもさらに充実されます。

このような状況の変化に対応し、本市産業がさらに発展していくために、「これまでの事業を踏まえた事業の継承」、「今日的な社会経済状況や事業所のニーズへの対応」、そして「第五次総合計画に描いた産業振興の形を具現化」を念頭に置き、「産業振興ビジョン」を改訂いたしました。

今回の産業振興ビジョンでは、3つの戦略として、「積極的なシティセールスの展開」、「『攻め』の産業振興」、「多様なネットワークの形成」を掲げ、6つのチャレンジプロジェクトを明確に打ち出すことによって、関係者が展開すべき振興策の方向を示しています。

今後は、この新たなビジョンを指針として、実施環境に即した施策を積極的に行いながら、産業界を中心とし、市民、行政、支援機関等の連携によって産業の振興を図って参ります。

結びに、本市産業振興施策推進に向けてより一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、産業振興ビジョンの改訂にあたりご審議賜りました産業振興審議会委員各位はじめ、貴重なご意見を頂きました関係者の方々に心からお礼を申し上げます。

平成25年2月

高槻市長 **濱田 剛史**